

国立大学法人三重大学の中期計画 新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由								
<p>I 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(9) - 3 (略) 何らかの障がいや疾患に対して、気軽に相談できる場の提供やAT (支援機器) ライブラリーを充実させる (略)。</p> <table border="1" data-bbox="181 710 936 930"> <tr> <td>評価指標</td> <td>② 障がい学生への支援に対する教職員の理解度を高め、関係部署と連携をしていくため、障がい学生支援に係るセミナー (e-Learning、オンデマンド型等) を実施し、教職員の参加率を80%以上とする。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)</td> </tr> </table> <p>2. 人事に関する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の人事について、性別・国際性・障がいの有無を問わず、(略)。</li> </ul> <p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1" data-bbox="181 1198 936 1374"> <tr> <td>学部</td> <td>医学部 990人 (収容定員の総数) 5,550人</td> </tr> </table>	評価指標	② 障がい学生への支援に対する教職員の理解度を高め、関係部署と連携をしていくため、障がい学生支援に係るセミナー (e-Learning、オンデマンド型等) を実施し、教職員の参加率を80%以上とする。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)	学部	医学部 990人 (収容定員の総数) 5,550人	<p>I 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(9) - 3 (略) 何らかの障害や疾患に対して、気軽に相談できる場の提供やAT (支援機器) ライブラリーを充実させる (略)。</p> <table border="1" data-bbox="1003 710 1758 930"> <tr> <td>評価指標</td> <td>② 障害学生への支援に対する教職員の理解度を高め、関係部署と連携をしていくため、障害学生支援に係るセミナー (e-Learning、オンデマンド型等) を実施し、教職員の参加率を80%以上とする。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)</td> </tr> </table> <p>2. 人事に関する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の人事について、性別・国際性・障害の有無を問わず、(略)。</li> </ul> <p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1" data-bbox="1003 1198 1758 1374"> <tr> <td>学部</td> <td>医学部 1,010人 (収容定員の総数) 5,570人</td> </tr> </table>	評価指標	② 障害学生への支援に対する教職員の理解度を高め、関係部署と連携をしていくため、障害学生支援に係るセミナー (e-Learning、オンデマンド型等) を実施し、教職員の参加率を80%以上とする。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)	学部	医学部 1,010人 (収容定員の総数) 5,570人	<p>本学における「しょうがい」表記を「障害」に統一したことによる変更。</p> <p>令和5年度までの期間を付した地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の暫定増に伴う収容定員の変更。</p>
評価指標	② 障がい学生への支援に対する教職員の理解度を高め、関係部署と連携をしていくため、障がい学生支援に係るセミナー (e-Learning、オンデマンド型等) を実施し、教職員の参加率を80%以上とする。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)									
学部	医学部 990人 (収容定員の総数) 5,550人									
評価指標	② 障害学生への支援に対する教職員の理解度を高め、関係部署と連携をしていくため、障害学生支援に係るセミナー (e-Learning、オンデマンド型等) を実施し、教職員の参加率を80%以上とする。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)									
学部	医学部 1,010人 (収容定員の総数) 5,570人									